

南薩教育事務所だより

令和5年3月発行

「凡事徹底（ぼんじてってい）」

総務課長 吉住 裕一

この「凡事徹底」は、私が日頃から大切にしている言葉のひとつです。意味は、何でも無いような当たり前のことを、しっかりやり続けることで、その積み重ねが大きな成果を生み出すという、生きていく上でとても大切なことだと思っています。

この言葉のルーツを調べてみると、松下電器（現在のパナソニック）の創業者である松下幸之助氏に行き着きます。有名なエピソードとして、取引先の企業を訪問された時に、売り上げや利益といった数を見なくとも、その企業の経営がうまくいっているのかわかると同時に見抜いたという話です。松下氏が見ていたところは、「従業員の挨拶」、「職場の整理整頓」、「トイレ掃除」の3つだったそうです。また、晩年に創設した松下塾の入塾式では、「まず、自分の身のまわりを掃除しなさい。整理整頓しなさい。自分の身のまわりを美しくすることができない人間に政治という大きなことは絶対にできない。」と話していたそうです。

誰でもできる簡単な当たり前のことをしっかり継続することは、簡単そうでなかなか難しいことだと思います。しかし、自分のできることをコツコツと継続する、それが積み重なり大きな成果を生むことにつながると思います。日頃からそのような「凡事徹底」を意識したいものです。

令和4年度鹿児島学習定着度調査の結果を基に、次のアクションへ！

令和5年1月17・18日に、県内全ての小学5年生、中学1年生及び2年生に対して、鹿児島学習定着度調査が実施されました。本調査は、児童生徒に身に付けさせることが求められている知識・技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力状況及び学習状況を把握し、その結果を基に、教員の指導法改善を図るとともに、児童生徒の学力向上を図ることを目的として実施しています。

南薩地区の中学1年生は、国語、理科で県平均を上回り、全体の通過率も昨年度を上回りました。しかし、小学5年生では、全ての教科で、中学2年生では、理科以外の教科で県平均を下回っています。特に算数・数学と社会については、地区としての課題が見られます。今後年度末までに、調査問題を活用した補充指導と基礎・基本の定着を図る取組の徹底及びその見届けをしながら、確実に力を付けて次の学年へ引き継ぐようお願いいたします。

※（ ）の数値は、地区-県の差

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学5年	69.9(-1.0)	75.3(-2.2)	66.4(-1.0)	70.1(-1.5)	
中学1年	71.2(+0.8)	66.5(-1.9)	68.9(-2.0)	65.1(+1.9)	74.3(-1.3)
中学2年	68.1(-2.8)	50.3(-4.6)	69.4(-3.2)	63.1(+0.7)	66.6(-1.2)

【南薩地区結果（令和5年2月末時点の速報値）】

会計事務の適性化と金品管理について

年度末にむけて再確認しましょう！

- 学校で取り扱う全ての会計事務について計画的、組織的なチェック体制により、厳正かつ適正に執行していますか。
- 公私の別を問わず、教室や職員室等に現金を絶対に置かないようにするなど、金品の管理を厳重にしていますか。

いじめの認知件数は「児童生徒に寄り添った件数」です

いじめ防止対策推進法第2条の定義により、いじめと認知すべき事案の範囲は大きく広がっています。「これはけんかだ」、「たいしたことはない」、「気にしすぎだ」と個人で判断せず、法第23条に従って校内いじめ対策組織に報告し、組織的に対応する必要があります。表題は、2月7日（火）に行われた研修会における文部科学省いじめ自殺等対策専門官の言葉です。研修会の中では、9割の子供が「仲間はずれ、無視、陰口」の加害、被害の経験があるとの調査結果も紹介されました。いじめの認知件数が多い学校は荒れた学校などではありません。児童生徒の苦痛に気づき、寄り添っている学校です。

体力アップ！チャレンジかごしま

令和4年度の南薩地区の学校申告率は、小・中学校ともに100%でした。令和5年度も「2人でさっさっ」、「のぼしてコロコロ」を地区の重点種目と位置付け、「敏捷性」及び「柔軟性」の向上を図りたいと考えています。今後も積極的・継続的な取組をよろしくをお願いします。

【県学校賞】枕崎市立別府小学校

【地区最優秀賞】指宿市立池田小学校

南さつま市立大笠中学校

家庭教育支援啓発資料『親子手帳』

南薩地区社会教育振興会では、平成31年度から家庭教育支援啓発資料として「親子手帳」を作成し、小学校1年生に配布しています。各家庭において学習や読書、災害時のルール、成長の記録など、活用できる内容を掲載してあります。親子で一緒になって、ページを開いてみてください。



たくさんの応募、ありがとうございました

本年度も、地区内の先生方から貴重な実践に基づいた304点の教育論文を応募いただきました。応募論文の中から11点を南薩地区教育論文集「研究と実践」第13号に掲載します。各学校にCD-Rで配布しますので、今後の教育活動の参考にさせていただきます。

【教育論文集「研究と実践」第13号掲載者】

指宿市立魚見小学校	岩切 栄太郎	教諭(学級経営)
枕崎市立桜山小学校	西 雄大	教諭(国語科)
指宿市立柳田小学校	池田 直也	教諭(国語科)
枕崎市立桜山小学校	上田 博昭	教諭(体育科)
南さつま市立加世田小学校	福元 貴大	教諭(体育科)
南九州市立知覧中学校	冷水 隆志	教諭(体育科)
指宿市立山川小学校	山田 武流	教諭(道徳科)
枕崎市立立神中学校	西田 早苗	講師(特別支援教育)
南さつま市立坊津学園	太田 泰輔	教諭(研修)
南九州市立青戸小学校	堀ノ内 佐	教諭(研修)
指宿市立今和泉小学校	執印 優子	養護教諭(学校保健)

【学校賞(9校)】

枕崎市立桜山小学校
指宿市立柳田小学校
指宿市立今和泉小学校
指宿市立南指宿中学校
南九州市立宮脇小学校

枕崎市立別府小学校
指宿市立丹波小学校
指宿市立山川小学校
南さつま市立阿多小学校

【奨励賞(9校)】

枕崎市立枕崎小学校
枕崎市立立神中学校
指宿市立魚見小学校
南さつま市立万世小学校
南九州市立松ヶ浦小学校

枕崎市立別府中学校
指宿市立指宿小学校
南さつま市立加世田小学校
南さつま市立田布施小学校

県・地区指定研究公開及び研修会

○ 令和3・4年度県指定研究協力校研究公開「環境教育」

【枕崎市立枕崎小学校】

令和4年11月15日(火)に、枕崎市立枕崎小学校で開催されました。環境に対して「触れて気付く」、「考える」、「行動する」児童の育成を目指し、発達段階に応じた活動を教育課程に位置付けることによって、主体的に環境に関わる児童を育成する取組です。公開当日は、理科と道徳科の授業が公開されました。



○ 令和3・4年度県指定「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業

【南さつま市立加世田小学校】

南さつま市立加世田小学校は、「運動の魅力に触れ、能動的に身体を動かすかせだっ子」をテーマに、ルールや場の工夫、一単位時間の指導過程の工夫等の研究に取り組んできました。令和5年1月27日(金)に行われた研究公開当日は130人の参加の中、「跳び箱を使った運動遊び」、「ルールを簡易化したバスケットボール」の授業が公開され、運動の魅力を感じながら意欲的に取り組む子供たちの姿が見られました。



○ 令和3・4年度地区指定・枕崎市教育委員会研究協力校「小中連携教育」

【枕崎市立桜山小学校・桜山中学校】

枕崎市立桜山小学校、桜山中学校では、小学校から中学校の間にある環境の変化による不安等を軽減するために、児童生徒の交流等の取組を通して、児童生徒の自己肯定感や自己有用感を高める取組を積極的に行っています。令和4年10月27日(木)に行われた研究公開では、小学校5年生の道徳及び6年生の体育、中学校1年生の国語の授業が公開されました。授業参観や研究協議を通して、小中連携の在り方について学びを深める貴重な機会となりました。



○ 令和3・4年度地区指定・南九州市教育委員会研究協力校「読書指導」

【南九州市立中福良小学校】

令和5年2月7日(火)に、南九州市立中福良小学校で「読書指導」の研究公開が行われました。「主体的に読書に親しむ豊かな子どもの育成」をテーマに、アニメーションやブックトークの手法を授業に取り入れ、児童の読書への意欲を高める研究がなされ、児童が意欲をもって楽しく学習に向かう姿が見られました。



○ 地区道徳教育研修会【南さつま市立万世小学校 (10/19)・万世中学校 (11/9)】

南さつま市立万世小学校、万世中学校の両校に共通していたのは、対話や議論を活性化させるためにICT機器をツールとして活用していた点です。アンケート結果の可視化や互いの考えの共有など、道徳科におけるICT機器の有効活用について多くのヒントを得られた研修会でした。

令和5年度は、指宿市立開聞小学校、開聞中学校で開催されます。

